

【研究概要】

精神疾患のある患者らの就労は社会的な課題となっている。しかしながら、疾患や障害の特性や環境的要因により就労においては困難が伴う。本研究では、対象者より就労に影響を与えると考えられる情報を収集し、統計学的な検討を加えることにより、就労に関連する因子を明確にする。それにより、就労に必要な準備を行うことができ、円滑な就労への一助となることが期待できる。